

**SEKISUI**

**エスロン<sup>®</sup>  
バタフライバルブ レバー式  
取扱説明書**










**積水化学工業株式会社**

## 目次







|     |             |   |
|-----|-------------|---|
| 1   | 注意事項        | 1 |
| 2   | 各部の名称       | 3 |
| 3   | 施工方法        | 4 |
| 3.1 | フランジ接合      | 4 |
| 4   | 操作方法        | 5 |
| 5   | 通水試験        | 5 |
| 6   | トラブルシューティング | 5 |
| 7   | 資料          | 6 |
| 7.1 | 製品仕様        | 6 |
| 7.2 | PTレート       | 6 |

### 1 注意事項







#### 1.1 設置場所

|  <b>注意</b> |   |
|---|---|
| バルブに曲げ、引っ張り、衝撃などの外力が加わらないように取り付けてください。<br>(動作不良、漏れの原因になります)                                 |    |
| 仕様範囲外の周囲温度または極端に高い湿度では使用しないでください。   |  |
| 直射日光の当たる屋外への設置は避けてください。   |  |
| 腐食性雰囲気を設置する場合は通気を良くしてください。  |  |
| 極端に温度の高い所や湿度の高い所には設置しないでください。   |  |
| 使用条件により凍結するおそれがある場合は、保温その他の方法で凍結防止を行ってください。   |  |

#### 1.2 使用

|  <b>注意</b> |   |
|---|---|
| 流体温度、圧力は仕様の範囲内で使用してください。  |  |
| スラリーを含んだ流体や結晶性の流体での使用は避けてください。<br>(使用すると部品の摩耗や細かい粒子の噛込み等動作不良の原因となります)                         |  |
| 砂等の硬質異物を含む流体に使用する場合には、ストレーナで異物を除去してください。  |  |
| 配管後、管路の漏れ試験を行う場合、必ず水圧により確認してください。管内に空気が残らないよう確実に排気してから加圧してください。                               |  |
| フランジ接続ボルトの締め付けトルクを定期的にチェックし、標準締め付けトルクとなるように管理してください。ボルトの緩みは漏れの原因となります。                        |  |

1.3 保管・運送など

|  注意 |   |
|--|---|
| バルブは丁寧に取り扱い、誤って落としたり、投げ下ろしたりしないでください。硬質塩化ビニル製品は強い衝撃をあたえると性能に悪影響をおこすことがありますのでご注意ください。 |  |
| 呼び径の大きいバルブは重いので、二人で慎重に積み降ろしや運搬をしてください。   |  |
| 長期間保管する場合は、梱包のまま整理し、荷崩れのないように保管してください。   |  |
| 保管は雨水等のかからない、湿気の少ない所で保管してください。   |  |
| 自治体の法律・規則に従って廃棄してください。   |  |

2

3 各部の名称

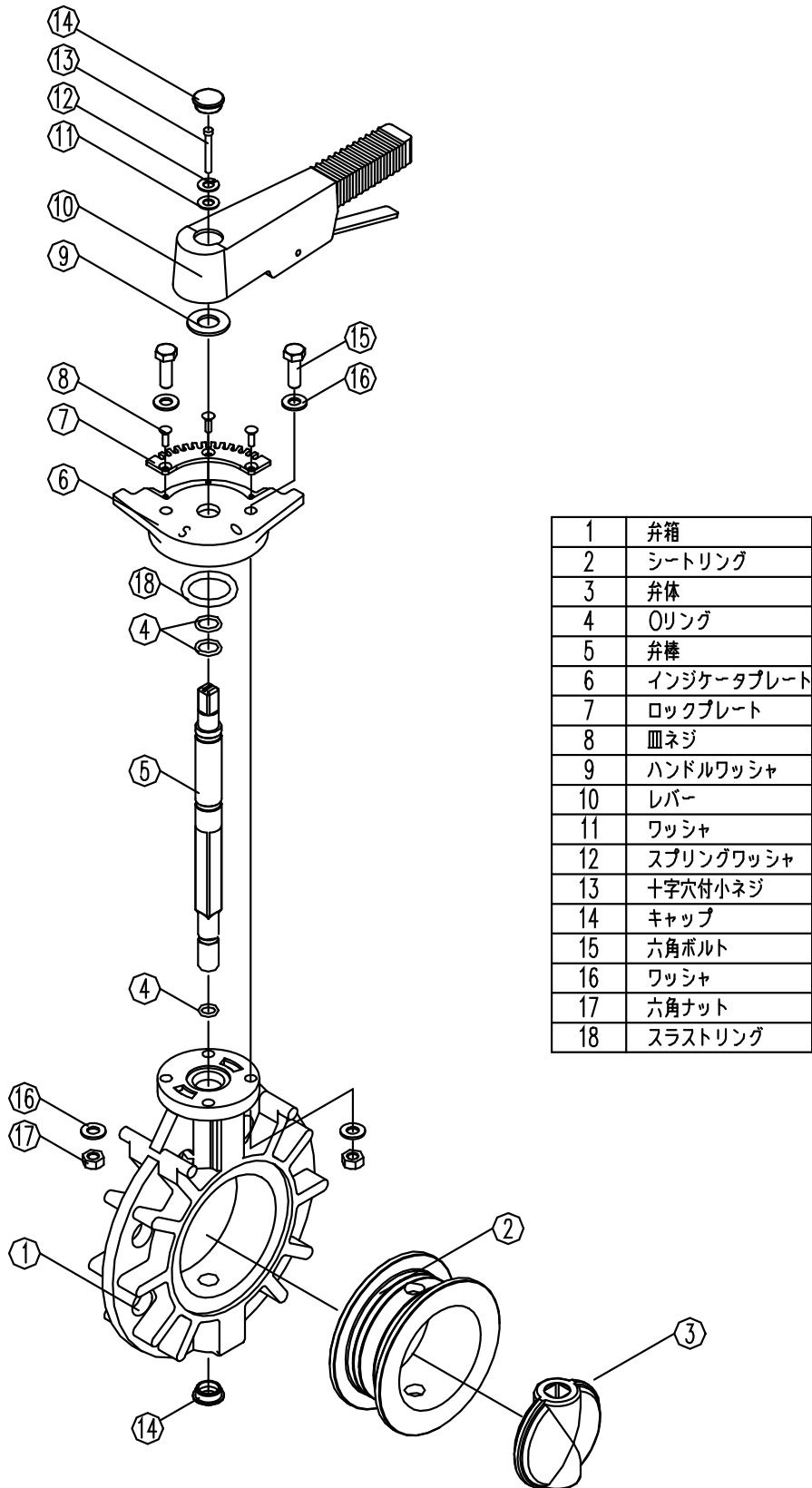


図-1 各部の名称

## 4 施工方法

### 4.1 フランジ接合

#### 4.1.1 使用部材

- ・トルクレンチ
- ・ボルト、ナット、ワッシャ
- ・スパナ

**!** パッキンは必要ありません。シートリングがパッキンの働きをします。

**!** ボルトは適切なものを使用してください。ボルトが短いと初期ねじ込みができなくなります。

表-1 フランジ接続用ボルト (JIS10K フランジの場合)

| 呼び径(A)    | 40          | 50  | 65  | 80  | 100         | 125 | 150 | 200 |
|-----------|-------------|-----|-----|-----|-------------|-----|-----|-----|
| ボルト径      | M16         | M16 | M16 | M16 | M16         | M20 | M20 | M20 |
| 首下長さ mm   | 90          | 110 | 120 | 120 | 130         | 140 | 140 | 160 |
| 締付トルク N・m | 19.6 - 29.4 |     |     |     | 29.4 - 39.2 |     |     |     |

#### 4.1.2 フランジ接合作業手順

**⊘** 座付き金属フランジ(LP 管含む)では使用しないでください。

- 1) 前後のフランジ面は平行か、管軸は合っているかを確認します。
- 2) ハンドル操作にてバルブを若干開きます。(弁体がシートリング面からはみ出さない範囲)
- 3) フランジの間にバルブを挿入します。

**!** バルブ設置に十分な広さを確保してください。

**!** 弁箱のフランジ位置決めピンは、本体材質 PVC JIS10K のみに付いています。

**!** 挿入時、フランジ端部でバルブのシートリングが捲れないように注意してください。

- 4) 接続側フランジからボルト、ワッシャを入れます。
- 5) 逆側の接続側フランジ側にワッシャ、ナットを入れ、仮締めします。
- 6) 管軸とバルブの芯が合っていることを確認します。
- 7) トルクレンチを使用し、ボルトを対角線上に順番に締め付けます。(図-2)

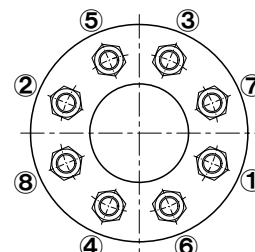


図-2 ボルト締め付け順序

**!** 片締めとならないように均等に締め付けてください。  
4～5回に分けて徐々に締め付け、標準締め付けトルクになるように締めます。(表-1)

**!** ボルトを均一に締め、フランジの強度低下を防止するためボルト側、ナット側ともに必ず平ワッシャを使用してください。

## 5 操作方法

ハンドルを回転させてバルブを開閉します。急激な開閉操作は、バルブの破損につながりますので、ゆっくりと丁寧にハンドルを操作してください。

流速が速い場合には、急激な開閉操作によりウォーターハンマーが発生しますのでゆっくりとハンドルを操作してください。

開操作：ハンドルを左回転（反時計回り）するとバルブが開きます。[ハンドル表示：O]

閉操作：ハンドルを右回転（時計回り）するとバルブが閉じます。[ハンドル表示：S]

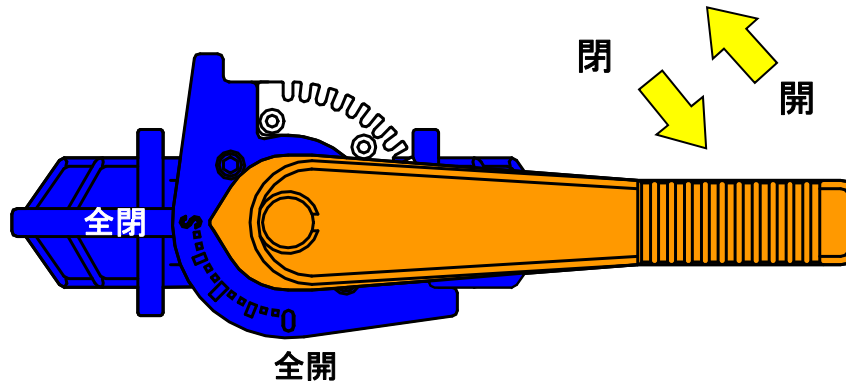


図-3 レバー式のハンドル操作

## 6 通水試験

配管の耐圧及び漏れ検査をする場合は水圧にて実施してください。

|  |  |
|--|--|
|  | <p><b>圧縮空気やガスでは、決して試験しないで下さい。</b><br/> <b>圧縮空気やガスを用いた場合、破裂等により重大な事故が発生する恐れがあります。</b></p> |
|--|--|

配管後、通水試験を行う場合は、次の点を確認してください。

- 1) 配管の接続に間違いはないか、ボルト部に緩みがないか。
- 2) 配管内に空気が残らないように排気してから加圧してください。
- 3) 界面活性剤の影響を受ける場合がありますので、界面活性剤を含む漏れ検出液の使用は避けてください。

## 7 トラブルシューティング

表-2 トラブルへの対処

| 現象           | 原因  | 処置   |
|--------------|---|--|
| バルブを開閉できない   | 異物の噛み込み<br>接続ボルトの締めすぎ                                 | 異物を除去しバルブを再設置する<br>バルブを再設置する                                 |
| バルブが完全止水しない  | 異物の噛み込み<br>弁体の破損や劣化<br>シートリングの破損や劣化<br>接続ボルトの締めすぎ     | シートリング・弁体を確認し、除去する<br>弁体を確認し、交換する<br>バルブを交換する<br>バルブを再設置する   |
| バルブ本体より外漏れする | 接続ボルトの緩み<br>接続ボルトの片締め・締めすぎ<br>使用圧力が高い<br>シートリングの破損や劣化 | 標準締め付けトルクで均一に増し締める<br>バルブを再設置する<br>許容圧力の範囲内で使用する<br>バルブを交換する |

## 8 資料

### 8.1 製品仕様

表-3 製品仕様

|               |  |                   |
|---------------|--|-------------------|
| サイズ           | 40 / 50 / 65 / 80 / 100 / 125 / 150 / 200A |                   |
| 材質            | 本体   | PVC / PP / PVDF   |
|               | 弁体   | PP / PVDF         |
|               | シートリング、Oリング                                | EPDM / FKM        |
|               | 弁棒   | SUS420J2 / SUS316 |
| 使用温度          | PVC  | 0～50℃             |
|               | PP   | 0～80℃             |
|               | PVDF                                       | 0～120℃            |
| 20℃における最高許容圧力 |  | 1.0MPa            |

### 8.2 PT レート

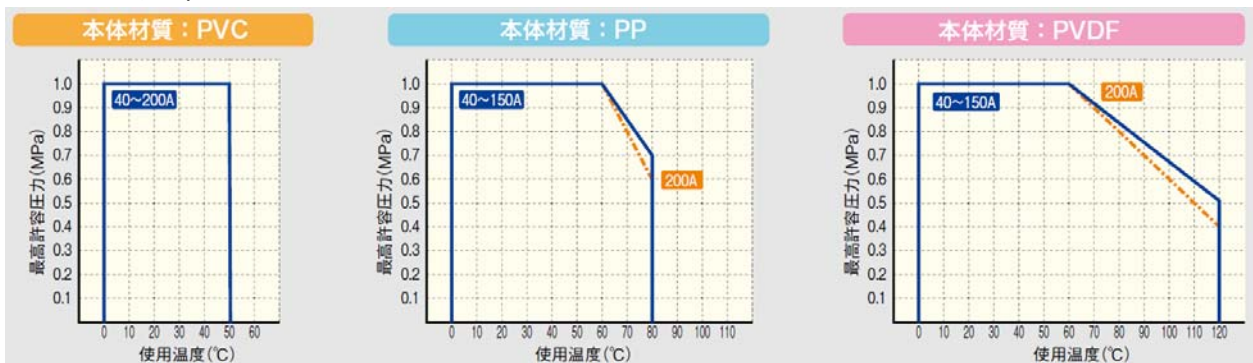


図-4 使用温度と最高許容圧力の関係



製品の仕様範囲内の温度や圧力で使用してください。漏れやバルブ破損の原因となります。

エスロンタイムズ on the Web  
プラント資材(生産設備)サイト

エスロンプラント で 🔍 検索

<https://www.eslon-plant.jp>



QRコードで  
アクセスはコチラ!

---

# エスロン<sup>®</sup> バタフライバルブ レバー式 取扱説明書

積水化学工業株式会社

---

記載事項は予告なく変更する場合があります。